

山間部でのドローンを活用した砂防施設点検を行います！

～ドローンのレベル 3.5 飛行試験～

中部地方整備局の砂防施設点検で、はじめての試み

1. 概要

越美山系砂防事務所には、山間部に約200基の砂防施設があり、砂防施設の点検においては急峻な山を徒歩により移動する必要があり、点検に期間を要し、滑落等の危険を伴うことが課題となっています、

そこで、砂防施設の点検の省人化・省力化及び安全の確保を目指すため、ドローンを活用した効率的な施設の点検方法を検討していますが、災害時において倒木や土砂流出等により、車両の通行が困難な場合は、ドローンを目視外で長時間飛行させる必要があります。

今回、令和5年12月に新設されたドローンのレベル3.5飛行制度に基づき、砂防施設点検を行います。

2. 日 時

~~令和7年6月10日(火) 9:30～11:30(予定)~~→降雨により延期

6月12日(木) 9:30～11:30(予定)

※実施日は、天候等により延期する場合があります。延期の場合は、当日の朝8時半までに、越美山系砂防事務所のホームページに掲載します。

3. 場 所

岐阜県揖斐郡揖斐川町坂内広瀬地先

(道の駅「夜叉ヶ池の里さかうち」から徒歩 約300m)※別紙1参照

4. その他

来場人数を事前に把握するために、取材をご希望される方は事前登録をお願いしております。取材登録書(別紙2)に必要事項をご記入の上、前日16時までに提出をお願いします。

5. 配布先

岐阜県政記者クラブ

越美山系砂防事務所管内(本巢市・揖斐川町)支局等

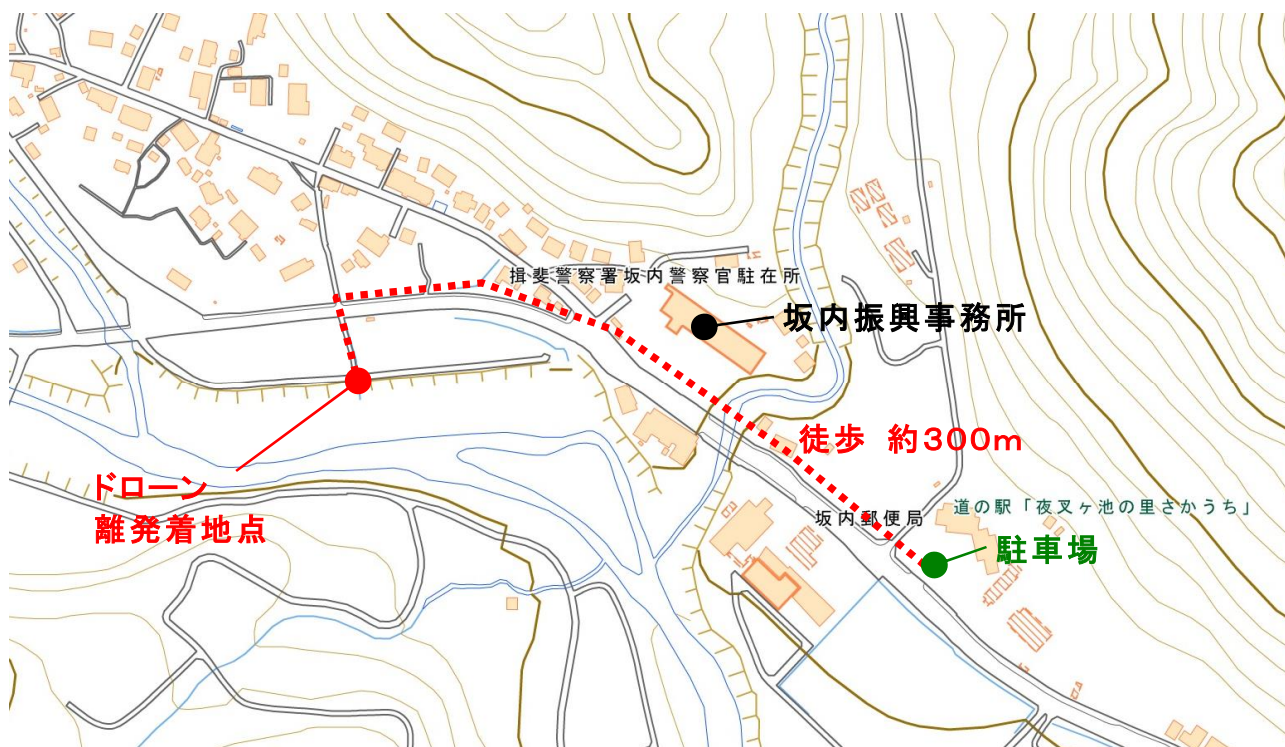
6. 問い合わせ先

国土交通省中部地方整備局 越美山系砂防事務所 TEL 0585-22-2161

副所長(技術) 川地 淳司

調査課長 中村 英利

位置図



出典：電子地形図 25000(国土地理院)を加工して作成

駐車場は、道の駅「夜叉ヶ池の里さかうち」をご利用ください。

山間部でのドローンを活用した砂防施設点検 取材登録書

取材をご希望される機関におかれましては、こちらの取材登録書を期限までにメールまたはFAXにて提出をお願いいたします。

送信期限 ~~令和7年6月9日(月)16:00まで~~

令和7年6月11日(木)16:00まで

1. 機関名 _____
2. 取材記者
 - i) お名前 (代表者) _____
 - ii) ご連絡先 (電話) _____
 - iii) 取材人数 (全体) _____人

3. 取材登録書送信先

国土交通省中部地方整備局 越美山系砂防事務所 総務課

メールアドレス cbr-etsumikouhou@mlit.go.jp

FAX 0585-22-2174

～ドローンによる飛行試験のお知らせ～

揖斐川町山間部の坂内川においてドローンを活用した砂防施設点検を行います

山間部にある砂防施設の機能及び、性能の状況を安全かつ適切に把握するため、ドローンを活用した効率的な施設点検を実施する取り組みの一環として、レベル3.5の飛行試験を行います。この飛行試験では、主に揖斐川上流坂内川の上空をドローンが飛行いたします。

飛行ルートにつきましては、次頁の飛行計画図をご参照ください。

【目的】

砂防施設を効率的・安定的に点検していくために、「ドローンによる飛行試験」を行うものです。

【点検内容】

これまで人が徒歩にて実施してきた施設状況の確認を、ドローンに搭載されたカメラによる映像から確認できるか検証します。

【飛行方法】

本飛行試験では、カテゴリⅡ（レベル3.5飛行）にてドローンを飛行します。

飛行速度：時速18km以下

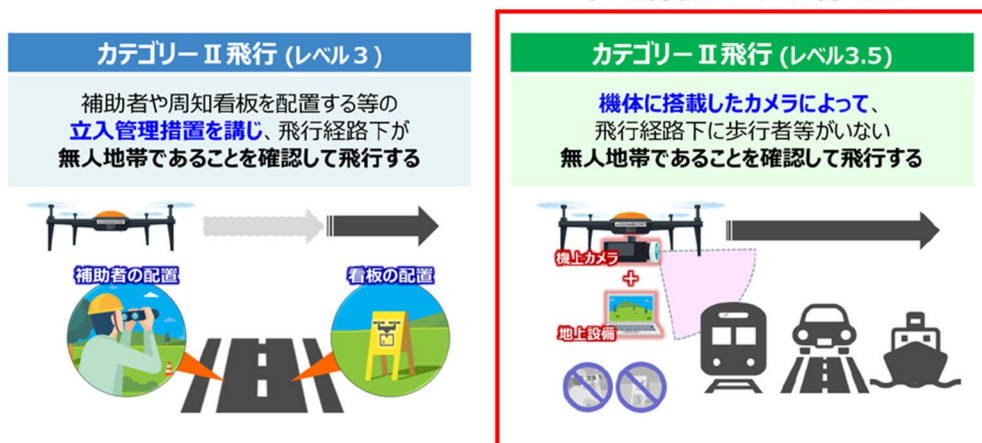
飛行距離：約17km（往復）

飛行時間：約2時間

<カテゴリⅡ（レベル3.5飛行）とは>

航空局の許可のもと実施するレベル3.5飛行のイメージを以下に示します。

本飛行試験の飛行方法



「カテゴリⅡ飛行(レベル3.5飛行)の許可・承認申請について 国土交通省 航空局 無人航空機安全課 令和6年2月」より引用

【飛行期間】

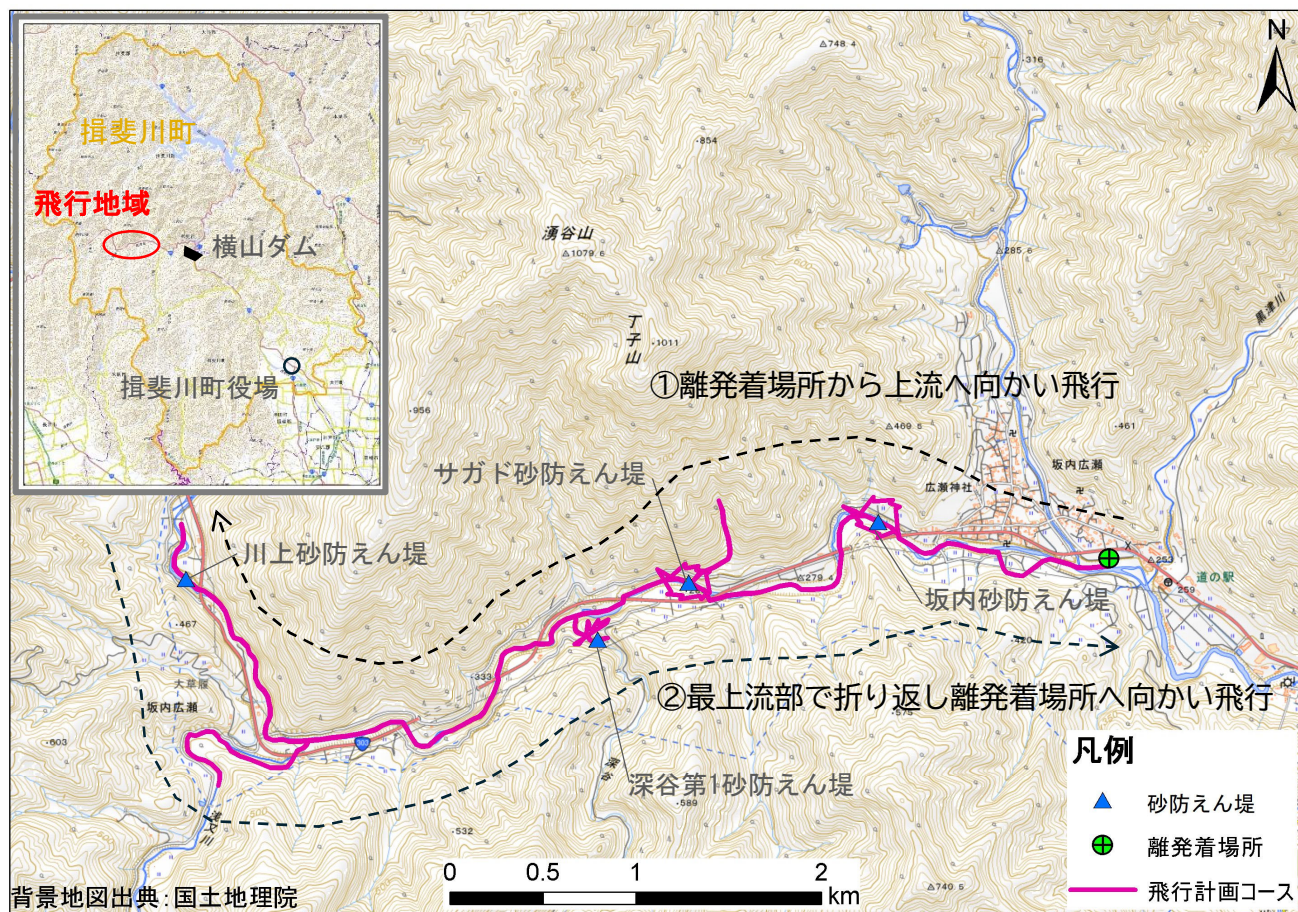
令和7年6月9日(月)～令和7年6月20日(金)

(上記期間の内、2～3日の飛行試験を想定しています。1回の飛行では、約2時間の連続飛行を想定しています。)

※実施日は、天候等の都合により延伸することがあります。

※開始時間は、天候等の影響をみて決定します。

【飛行地域】 揖斐川上流坂内川周辺(岐阜県揖斐郡揖斐川町坂内広瀬地先)



【使用機体（ドローン）】

ハイブリッドドローン「GLOW.H」

＜機体の特徴＞

【ハイブリッド】小型の発電機を搭載し、内蔵バッテリーを充電しながら飛行します。

【長時間飛行】カメラなどを搭載した状態で2時間程度の飛行が可能です。

【長距離飛行】汎用機で用いられている2.4GHzに加えて、LTE通信(携帯電話などで使われるモバイル通信技術)が可能であるため、操縦者と機体の距離が離れていても、LTE通信圏内であれば遠隔操作(事前に設定した飛行プログラムの実行、停止操作)・カメラによる周囲状況の確認が可能です。



この調査に関する問い合わせ先

発注者

国土交通省 中部地方整備局 越美山系砂防事務所 調査課 ☎0585-22-2163 担当者：中村

国土交通省 中部地方整備局 河川部 河川計画課 ☎052-953-8148 担当者：大西、上田

受注者

株式会社パスコ 中部事業部 技術センター

☎052-239-5140

担当者：深谷、植谷、小島